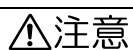
取扱補足説明書

OBK48/37APACK2、OBK48/37AL、OBK48/37AR
OBK48/37BPACK2、OBK48/37BL、OBK48/37BR

DAYTONA corp.

R79506 ①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*取扱説明書（イタリア語表記）と本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書（イタリア語表記）と本書も併せてお渡しください。

 OBK アルミモノキーサイドケース	適応商品 PL-CAM パニアホルダー専用

■本書はイタリア語の取扱説明書を補足するものです■

※　この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認ください。本書記載の内容を守らずに取り付け・取り扱いしたことにより発生した不具合や事故損害は、如何なる場合でも保証対象外であり、当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行います。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。予めご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。	
⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

⚠警告

禁止	
 禁止	• この商品はGIVI PL-CAMパニアホルダー（別売り）専用品です。PL/PLR、PLX/PLXRなどのGIVIパニアホルダー（別売り）、T/TEなどのGIVIサイドバッグサポートには取り付けできません。また、GIVI社指定以外の懸架ステーには使用しないでください（保証対象外）。 • この商品の指定最大積載重量（1サイドケースに収容可能な内容物のMAX総重量）はOBK48A/B、OBK37A/B共に10kgです。ケースやパニアホルダーの指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。当社では、操舵性を考慮して総重量3kg以下での走行使用をオススメします。 • ケース本体やケース上蓋の脱着が困難な場合は、リリースレバーやパニアホルダー勘合部、ヒンジ部に不用意に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 • この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 • 法定速度を必ず遵守することを前提に、いかなる場合でも100km/hを超える状態での走行使用は行わないでください。操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。 • オフロードなど悪路での走行使用は行わないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。

⚠注意

実施

- パッケージ開梱時やその後の商品取り扱い時に、パッケージや商品端面で指を切るなど予期せぬ怪我や事故、内容物の破損など（何れも保証対象外）が発生する場合があります。十分ご注意ください。
- この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
- ケース脱着作業は安定した平らな場所で、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで確実に行ってください。作業が適切に行われないと、作業中やご使用中に部品破損や脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。
- ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えてヒンジ部に無理な力が掛かるまで上蓋を最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。
- ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用する際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。
- ケースをパニアホルダーから取り外す際、パニアホルダー上側のアタッチメントに設けられた 2 箇所のスライダー（勘合インジケーター）の色が緑色から赤色に変わり勘合が解除されてからは、リリースレバーに無理な力を掛けないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。
- この商品を車体に取り付け走行使用すると、車両の重量増加や重心変化、空気抵抗増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能などが悪化します。操舵感覚や制動感覚に慣れるまでは十分慣らし運転を行ってください。このような変化はタイヤの磨耗や空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのベアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に各部を点検整備し、安全に走行使用してください。
- 取り付け後約 100km 走行しましたら必ず各部を点検整備し、ボルト類の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に定期点検整備を行い、同様にボルト類の増し締めを行ってください。これら作業を怠ると部品破損など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。
- ケース背面上側の勘合部やリリースレバーのカバー内部に、車体が巻き上げた雨水や泥などの異物が混入する場合があります。定期的にメンテナンス（内部清掃および稼動部への注油）を行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

その他

- 立ちゴケや転倒などでダメージを負った車体はもちろん、別途付加された純正アクセサリー類や他社製品、加工部品などとの組み合わせは未確認（保証対象外）につき、如何なる不具合や事故損害が発生したとしても当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。
- パッケージ開梱時やその後の商品取り付け・取り扱い時に、パッケージや構成部品（端面や突起部、バリなど）で予期せぬ怪我や事故（保証対象外）が発生する場合があります。事前に十分ご注意ください。
- 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。表面の汚れや傷、歪み、蓋の勘合具合、パニアホルダーへの組付フィット感など、程度の差につきましては予めご了承ください。
- この商品は防滴性を考慮した設計ですが、完全防水ではありません。また、収納する内容物の傷付きを保護する目的の商品ではありません。ケース内容物の防水・破損対策はお客様の自己責任で行っていただく必要があります（保証対象外）。この商品は金属製のケースにつき、樹脂製のケースよりも内容物の傷付き（保証対象外）には特にご留意ください。これらの不具合につきましては当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。
- ケース自体は施錠できますが、盗難を完全に防止することはできません。車両を離れる際はケース内に貴重品を入れたままにしない、ケースを取り外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。
- ご使用環境やご使用状況によってはケース内部が高温になる場合があります。ご注意ください。
- 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行います。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。予めご了承ください。
- この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。予めご了承ください。

ラインアップ

■左右セット

パーツ名	品番	税抜価格	容量	奥行×幅×高さ	外観色
OBK48APACK2	79662	￥102,000	48L	495mm×306mm×387mm	アルミ地
OBK48BPACK2（ブラックライン）	79668	￥108,000			アルミ黒塗装
OBK37APACK2	79530	￥94,000	37L	495mm×246mm×387mm	アルミ地
OBK37BPACK2（ブラックライン）	79665	￥100,000			アルミ黒塗装

■左右単品売り（定番外・受注発注品）

パーツ名	品番	税抜価格	容量	奥行×幅×高さ	外観色
OBK48AL（左）	79660	￥51,000	48L	495mm×306mm×387mm	アルミ地
OBK48AR（右）	79661	￥51,000			
OBK48BL（ブラックライン左）	79666	￥54,000			アルミ黒塗装
OBK48BR（ブラックライン右）	79667	￥54,000			
OBK37AL（左）	79506	￥47,000	37L	495mm×246mm×387mm	アルミ地
OBK37AL（右）	79507	￥47,000			
OBK37BL（ブラックライン左）	79663	￥50,000			アルミ黒塗装
OBK37BR（ブラックライン右）	79664	￥50,000			

※. PACK2 はサイドケース左右セット、L/R はサイドケース左右単品売り（定番外・受注発注品）です。

※. 左右単品売り（定番外・受注発注品）は、ご注文いただいてから都度イタリアより取り寄せます。納期はご注文確定日から 100 日ほど掛かります。ご注文確定後のキャンセル・返品は一切お受けできません。また、保証書は入っておりません。予めご了承ください。

※. 商品の詳細や最新情報は GIVI 専用ホームページ http://www.givi-jp.com にてご確認ください。

本商品の特徴

- 世界中のアドベンチャーツアラーの熱い要望から生まれた TREKKER OUTBACK アルミモノキーサイドケース。1.5mm 厚のアルミ板をメイン素材とし、内部補強にアルミ押し出し材、シェルアウター角部補強にテクノポリマー樹脂材を施した堅牢な造りとなっています。トップシェルに設けたグリップバーとストラップ留め具は共にステンレス製（リベット部 O リング仕様）。セキュリティロックキー標準装備。
- 従来よりも太い 18mm パイプ&4 点留め懸架システムを新採用した GIVI PL-CAM パニアホルダー（別売り）専用品。指定最大積載重量（1 サイドケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は OBK48A/B、OBK37A/B 共に 10kg。外観色は共にアルミ地とアルミ黒塗装（ブラックライン）をラインアップ。PACK2 は左右 1 セット、L/R は左右単品売り（定番外・受注発注品）。
- サイドケース上蓋は蝶番を開放してスライド開閉できるほか、ボトムシェルから完全取り外しも可能。大型トップケース同時装着時のサイドケース上蓋開閉の接触不安を取り除き、サイドケースからはみ出るような高さの荷物も上蓋と一緒に一時積載可能な仕様となっています。

※. この商品は GIVI PL-CAM パニアホルダー（別売り）専用品です。PL/PLR、PLX/PLXR などの GIVI パニアホルダー（別売り）、T/TE などの GIVI サイドバッグサポートには取り付けできません。また、GIVI 社指定以外の懸架ステーには使用しないでください（保証対象外）。

※. ケースやパニアホルダーの指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。当社では、操舵性を考慮して 1 ケースあたり総重量 3kg 以下での走行使用をオススメします。

※. 商品の詳細や最新情報は GIVI 専用ホームページ http://www.givi-jp.com にてご確認ください。

商品内容

■左右セット

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	OBK モノキーサイドケース（左右）	別記	各 1	②	セキュリティロックキー		4

■左右単品売り（定番外・受注発注品）

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	OBK モノキーサイドケース（左右何れか）	別記	1	②	セキュリティロックキー		2

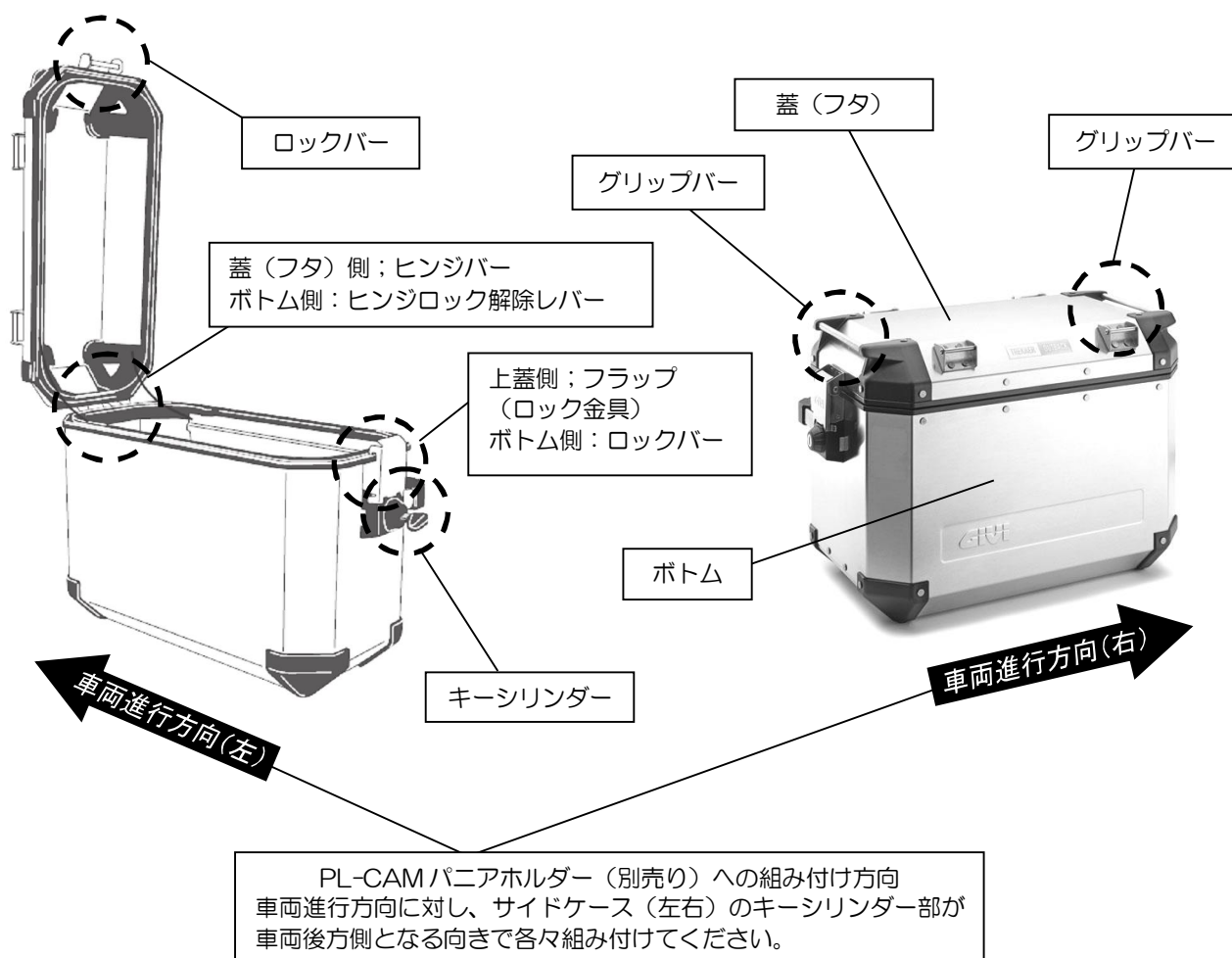
※. 車両に組み付ける前に、必ず各部品の構成（種別や入数、寸法、外観など）や作業内容を十分ご確認ください。

※. ②セキュリティロックキーは、1 サイドケースにつき同じナンバーキーが 2 個付属しております。

※. PACK2（左右セット）は、GIVI 社にて左右ケースに共通使用可能な同じナンバーキー（計 4 個）に予め交換されております。各々のケースに元来組み込まれていた予備キー（左右固有のナンバーキー各 2 個）が商品に同梱されている場合がありますが、この予備キーは左右ケースに共通使用できません。予めご了承ください。

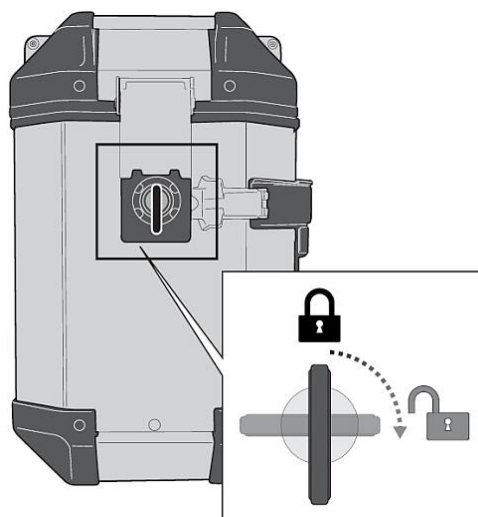
※. L/R（左右単品売り）は各々固有のナンバーキー（2 個）が標準採用されておりますので、他のケースには共通使用できません。このL/R（左右単品売り）の標準キーを、左右ケースに共通使用可能なキーとするためには、別売りの SL103 セキュリティセイムナンバーキー（3 ケース用計 6 個セット）（品番 77303）への交換が必要です。

各部図解

PL-CAM パニアホルダー（別売り）への組み付け方向
車両進行方向に対し、サイドケース（左右）のキーシリンダー部が
車両後方側となる向きで各々組み付けてください。

A. ケースの蓋を開ける（通常開口）※蓋を閉める際は逆の手順で行ってください。

1. ①OBK モノキーサイドケースのキーシリンダーに②セキュリティロックキーを奥までしっかりと挿し込み、鍵を右（3 時方向）に回してロック解除します。（図 A1 参照）

2. キーシリンダー上部にあるフラップ（ロック金具）の左右のノブを指でつまみ、金具下側を手前に引き寄せながら全体を上に押し上げ、金具のツメと蓋ロックバーとの勘合を外し、フラップ（ロック金具）を完全にフリーの状態にします。（図 A2 参照）

3. 蓋に設けられたグリップバー（キーシリンダー側）をしっかりと持ち、フラップ（ロック金具）の勘合部に引っ掛からないよう注意しながら蓋を開けます。（図 A2 参照）

※. この時、所定の制御範囲を超えて、ヒンジ部に無理な力が掛かるまで蓋を最大開口させないでください。ヒンジ部分の変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。

※. 上記とは逆の手順でケースの蓋を閉める際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。また、鍵を左（12 時方向）に回してケースの蓋をロックした後は、フラップ（ロック金具）と蓋が確実にロックされていることを必ず入念に確認してください。この作業を怠ると、走行使用中に蓋が開くなど予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。

図 A1

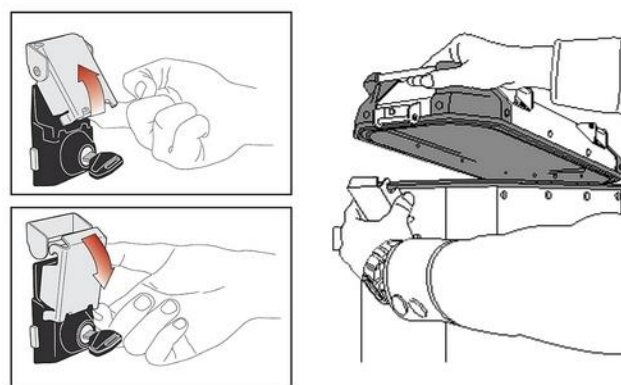



図 A2

B. ケースの蓋を外す（特殊開口）※蓋を組み付ける際は逆の手順で行ってください。

※. 大型トップケース同時装着時は、トップケースの横方向の張り出しが大きいため、通常開口時にサイドケースの蓋がトップケースと接触する場合があります。このような場合は以下の手順で蓋を特殊開口できます。

1. 「A. ケースの蓋を開ける（通常開口）」手順 1～3 と同じ手順で蓋のロックを解除し、①OBK モノキーサイドケースの蓋が開く状態にします。（図 A1～2 参照）

2. 蓋に設けられたグリップバー（キーシリンダー側）をしっかりと持ち、ボトム側ヒンジロック解除レバーの PRESS 部を下に押し、その状態で蓋をヒンジ側真横方向に軽く押し出して、ヒンジ金具と蓋側ヒンジバーとの勘合を外します。（図 B1 参照）

※. この時、ケース内部の開口制御プラスチックで連結されていますが、蓋は完全にフリーの状態となります。蓋が不用意に動いて車体やケースを傷付けることがないよう十分留意してください。

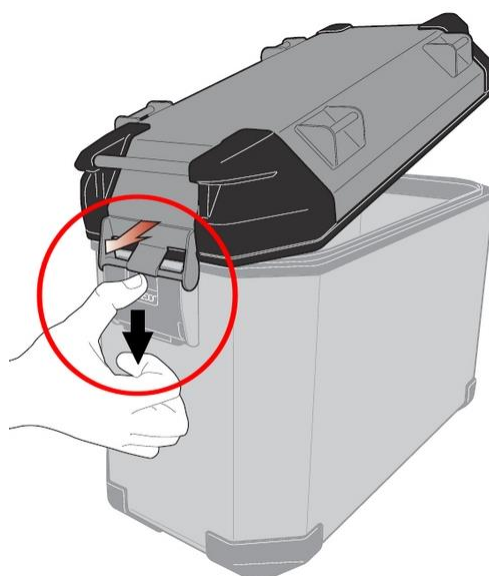



図 B1

3. 蓋に設けられたグリップバー（2 箇所）を両手でしっかりと持ち、トップケースや車体に接触しないよう十分注意しながら蓋（キーシリンダー側）を車体外側真横方向にスライドさせ、接触回避できる位置まできたら蓋全体を動かし、ボトム側ヒンジ部面に軽くあてがうように蓋を配置します。（図 B2 参照）

※. この時、ケース内部の開口制御プラスチックで連結されていますが、蓋は完全にフリーの状態となります。蓋が不用意に動いて車体やケース（特に蓋側ヒンジ部が接触するボトム周辺部位）を傷付けることがないよう十分留意してください。

図 B2

4. 手順３の状態から、①OBK モノキーサイドケース内部の開口制御プラスチックの勘合（4 箇所あるうちの上下いずれか 2 箇所）を取り外すことで、蓋とボトムを完全分離することができます。ケースからはみ出るような高さの荷物でも、取り外した蓋と一緒に一時積載可能な仕様となっています。（図 B3 参照）

※. 開口制御プラスチックとレッドプーリー（開口制御プラスチック固定コマ）の勘合はかなり固めです。開口制御プラスチックを脱着する際、レッドプーリー（開口制御プラスチック固定コマ）の固定ねじ部を破損しないよう十分留意してください。

※. 蓋とボトムを完全分離した状態での走行使用は、あくまでもお客様が自己責任で行う、本品の一時的な使用方法としてください。この状態で一般公道を走行使用したことにより発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社およびGIVI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。

図 B3

5. 蓋をボトムに元通り組み付ける際は、手順 1～4 とは逆の手順で行ってください。

※. 手順 2 とは逆の手順で蓋側ヒンジバーをヒンジ金具に組み付けた後は、バーと金具の噛み込みに異常がなく、蓋（ヒンジ側）が確実に開閉作動できることを必ず入念に確認してください。この作業を怠ると、ヒンジ部を破損したり、走行使用中に蓋が開くなど予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。（図 B4 参照）

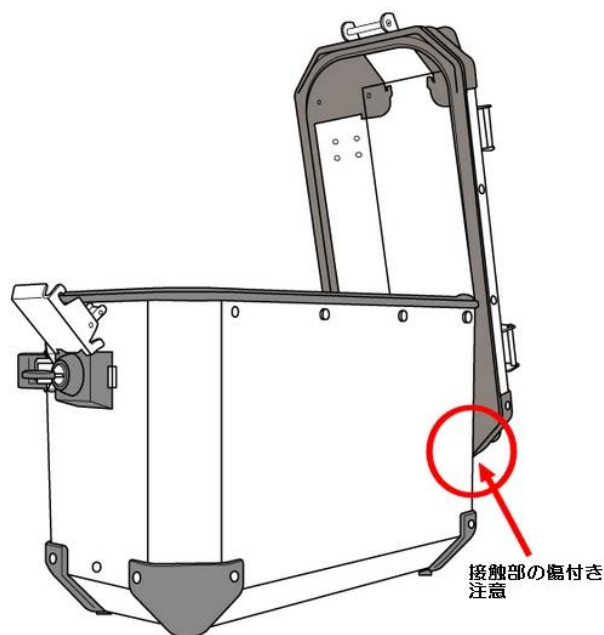
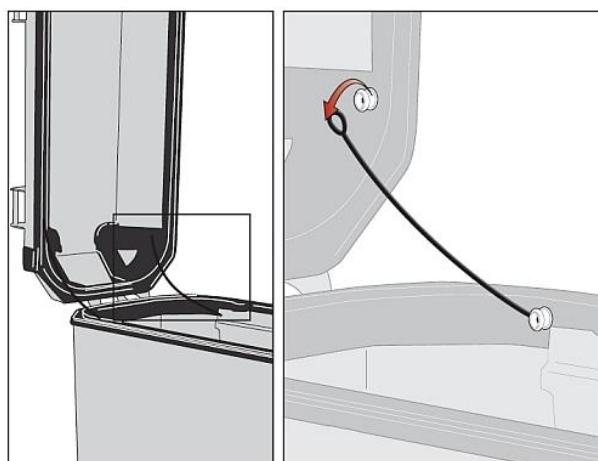
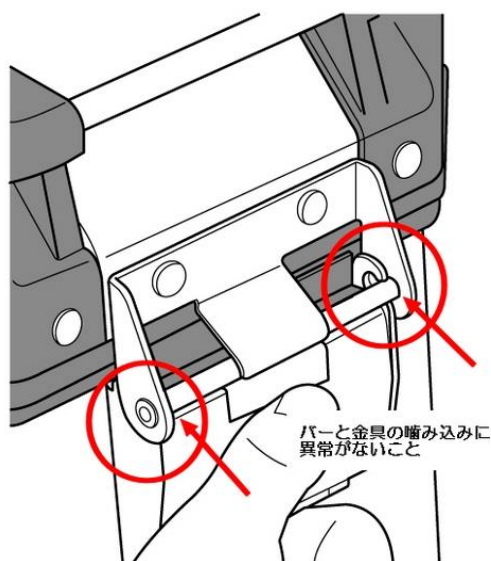



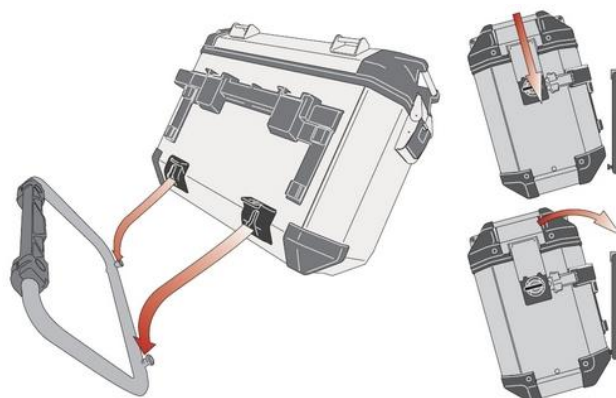
図 B4

C. ケースをPL-CAMパニアホルダーに取り付け、走行使用する

1. ①OBK モノキーサイドケースのキーシリンダー側（必ず車体後方側となる向きで組み付けます）を確認し、ケースの左右を判別します。

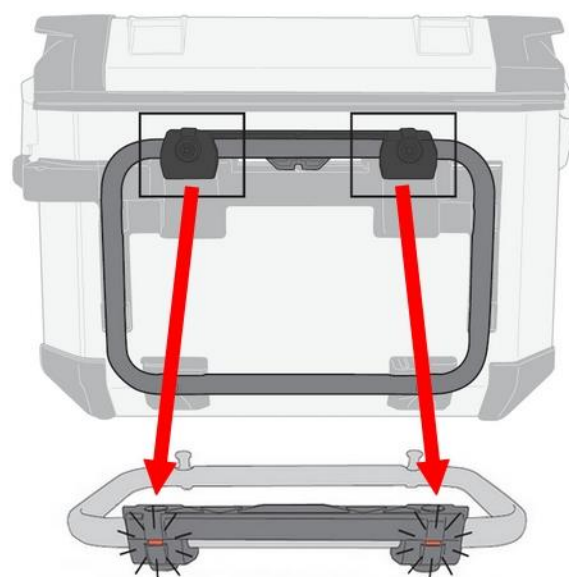
2. 蓋に設けられたグリップバー（2 箇所）を両手でしっかりと支え持ち、脱落させないよう十分注意しながら、車体側 PL-CAM パニアホルダー下側の凸フック部（2 箇所）にケース背面下側の凹部（2 箇所）を勘合させせます。（図 C1 参照）

※. この時、ケースのキーポジションはロック/ロック解除、何れの位置でも問題はありません。

図 C1

3. 引き続きケースをしっかりと支え持ち、車体が不用意に倒れたり手順 2 で行った勘合が外れないよう十分注意しながらパニアホルダー上側のアタッチメント（勘合部 2 箇所）にケース背面上側の勘合部（2 箇所）を押し当て、パニアホルダーにケースを確実に取り付けます。（図 C1 参照）

※. この時、パニアホルダー上側のアタッチメントに設けられた２箇所のスライダー（勘合インジケーター）の色が両方とも緑色となっていることを必ず確認してください。片側または両方が赤色の場合はケース背面上側が正しく勘合できていません。（図 C2 参照）

※. パニアホルダーへの取り付けが困難な場合は、ケースの蓋を一旦開け、内部よりケース背面上側の勘合部付近をパニアホルダーに押し当ててください。

※. 上記の方法でもうまくいかない場合は、ケースを一旦パニアホルダーから取り外し（次ページの「D. ケースを PL-CAM パニアホルダーから取り外す」手順参照）、上記手順 2～3 を再度やり直してください。

4. 車体を倒さないよう十分注意しながらケースを両手で揺り動かし、パニアホルダーへの取り付けに異常がないことを必ず確認してください。また、キーシリンダーに②セキュリティロックキーが挿し込まれている場合は、必ずキーを抜いてから走行使用してください。

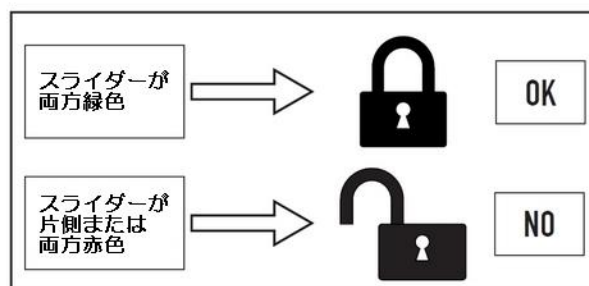



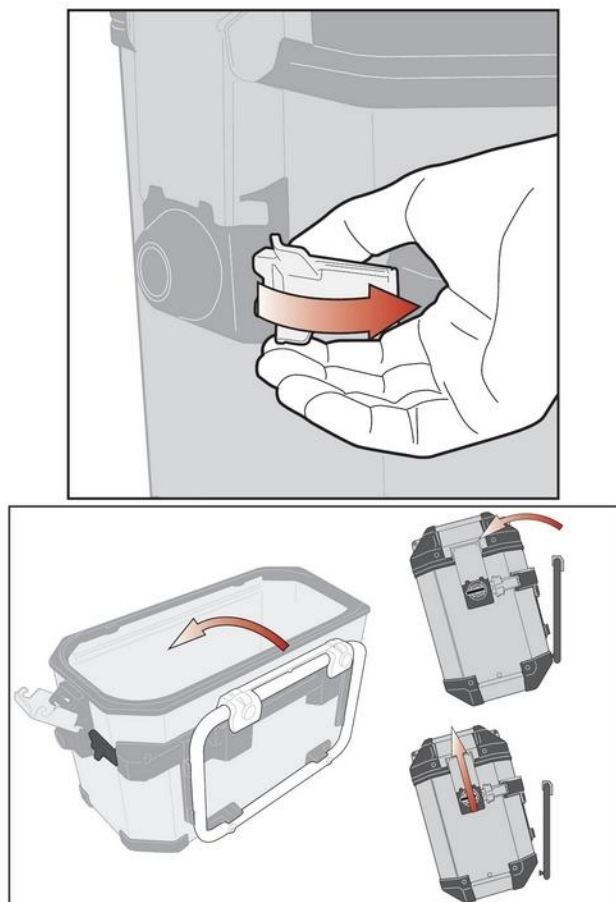
図 C2

D. ケースをPL-CAMパニアホルダーから取り外す

1. ①OBK モノキーサイドケースのキーシリンダーに②セキュリティロックキーを奥までしっかりと挿し込み、鍵を右（3時方向）に回してロック解除します。

2. ケースをしっかりと支え持ち、キーシリンダー横にあるリリースレバーの左右のノブを指でつまみ、アームを手前に軽く引いて車体側PL-CAMパニアホルダー上側のアタッチメント（勘合部2箇所）とケース背面上側（2箇所）の勘合を慎重に外します。（図D1参照）

※. この時、パニアホルダー上側のアタッチメントに設けられた2箇所のスライダー（勘合インジケーター）の色が緑色から赤色に変わり勘合が解除されてからは、リリースレバーに不用意に無理な力を掛けないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。

3. 引き続きケースをしっかりと支え持ち、パニアホルダー下側の凸フック部（2箇所）とケース背面下側の凹部（2箇所）の勘合を外し、脱落させないよう十分注意しながら、パニアホルダーからケースを完全に取り外します。（図D1照）

図D1

その他

※. 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。表面の汚れや傷、歪み、蓋の勘合具合、パニアホルダーへの組付フィット感など、程度の差につきましては予めご了承ください。また、この商品は素材独自の風合いを出すために、アルミ部分に表面処理を行っておりません。アルミ部分に水分などが付着したまま放置したり、湿気が多い環境で使用したりすると、アルミ部分にサビが発生します。手垢や水垢などの汚れも定着しやすい傾向にありますので、時間を置かずに拭き取るなど、適宜メンテナンスを行うことをオススメします。商品ご使用後に新たに発生したサビ付きや汚れの定着などの外観不具合は保証対象外につき、予めご了承ください。

※. 商品にガソリンやブレーキフルード、アセトン、シンナーなどの有機溶剤や化学物質を付着させないでください。小傷や曇り、素材表層の変色・変質などの原因となります。万が一付着した場合は直ちに水で洗い流してください。

※. 商品を洗浄・ふき取りする際は、研磨剤入りの磨き剤や目が粗い織布は使用しないでください。小傷や曇り、素材表層の変質・変色などの原因となります。

※. この商品は防滴性を考慮した設計ですが、完全防水ではありません。また、収納する内容物の傷付きを保護する目的の商品ではありません。ケース内容物の防水・破損対策はお客様の自己責任で行っていただく必要があります（保証対象外）。この商品は金属製のケースにつき、樹脂製のケースよりも内容物の傷付き（保証対象外）には特にご留意ください。これらの不具合につきましては当社およびGIVI社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。

※. ケース背面上側の勘合部やリリースレバーのカバー内部に、車体が巻き上げた雨水や泥などの異物が混入する場合があります。定期的にメンテナンス（内部清掃および稼動部への注油）を行ってください。

〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮４８０５

デイトナ商品についてのご質問、ご意見は
0120-60-4955まで。営業時間：平日　午前９：00～午後６：00
ＵＲＬ総合　http://www.daytona.co.jp/　　ＧＩＶＩ専用　http://www.givi-jp.com